

# ひかりのこ

5月園便り

認定こども園  
聖ミエル幼稚園  
2023年4月21日

## 月主題：動き出す

### 「泣いてもいいんだよ。」

4月12日に入園式が終わり、かわいらしい年少さんがやってきました。年少さんたちは、幼稚園を楽しみにしているのでしょう。

ほとんどのお子さんが、泣かないで、階段を上っていきます。でも、お昼近くになるとお家が恋しくなるのか、涙が出てしまうお友達もいます。

年中長さんもワクワクと幼稚園に登園してきます。かわいい年少さんのお世話をしようと、楽しみにしているのです。でも、張り切りすぎて、ちょっと涙が出てしまうお兄さん、お姉さんもいます。今まで、年長さんに甘えられた3月とは違うクラスの様子に「お母さーん」と泣く子もいます。

泣いてもいいんです。ある年中さんが言っていました。「泣くと涙がたくさん出て、目の中のごみが取れてきれいになるんだよー。ほら、ぼく、昨日泣いたから、お目目きれいだよー！」キラキラしたお目目を見せてくれました。お目目のごみもとれるし、心の中のもやもやしたのもとれるし、泣くとすっきりしますものね。

子どもたちは先生やお友達に心の中のありのままを出して、泣いたり、笑ったりしながら、人につながっていきます。春の暖かな日差しを浴びて、子どもたちがゆったりと大きくなっていてほしいと願っております。

園長 渡部 良子



## キリスト教保育

今日は『六にんの男たち』という絵本を紹介します。表紙には、なだらかなオレンジ色の丘を、六人の男たちがトボトボと歩いている姿が描かれています。彼らは平和な暮らしを求め、戦さのない土地を求めてさまよいます。やがてたどり着いた土地で、彼らは家を建て、家族を増やします。しかし、家族や財産を守るために塔を建て、見張りを置き、やがて自分たちの安全のために周りの土地を侵略するようになって……。続きは、絵本を手にとって読んでみてください。

聖書には、神が人間に対して「おそれるな」と呼びかける場面が何度も登場します。未知のこと、心の中にある小さな不安と向き合う時、私たちはまだ起きていない未来を勝手に想像します。そしてその不安が膨らみ、やがて「おそれ」に変わります。最初の人間アダムとイブも、神との約束を守らなかった自らの過ちから、神の怒りと罰を想像し、怖くなって身を隠しました。

「おそれ」は、私たちの心に鍵をかけ、現実から遠ざけてしまいます。子育ては誰にも予想できない未来の連続です。どれほど具体的に理想的な将来計画を持っていたとしてもその通りになることはありません。正解のない親と子の協働作業を「おそれ」の中に閉じ込めることなく、信頼と愛情を持って共に担っていくことができますように。神様のみ守りをお祈りします。

チャプレン 司祭 上平 更

